

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成 29年 10月 23日 (金)

■福祉サービス事業者情報

名 称	柳井ひまわり園	種 別	障害者支援施設
代表者氏名	施設長 今元 恵二	開設年月日	平成13年4月1日
設置者	社会福祉法人 さつき会	定員(利用人数)	50名(49名)
所在地	〒742-1352 柳井市伊保庄4472		
電話番号	0820-24-1100	FAX番号	0820-22-0020
ホームページアドレス	http://satsukikai-oshima.com/himawari/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

●施設長は、自らの役割と責任について、会議や委員会等で職員に周知されています。就任後、各種マニュアルの新規作成や改正を積極的に行い、職員の行動規範を定めるとともに、虐待防止や身体拘束についても細かく文書化されていることから、福祉サービスの質の向上への意欲が伺われます。また、前回の受審結果を踏まえた経営の改善や、業務の実効性を高めるための組織づくりを行うなど、強い指導力が発揮されていると史料されます。

●前回の受審時には策定されていなかった中・長期計画は、5年間の計画が策定されており、法人の基本方針である「人間の尊重」「サービスの質の向上」について、接遇向上委員会や人権委員会等の取組を行うことにより、職員が共通認識を得る環境が整備されています。

●居室は全室個室で、プライバシーが守られるようになっており、今年度から導入されたユニットケアにより、個別支援計画に基づいた支援をより細かく実施する取組が始まっており、コミュニケーションを密にすることで潜在的な意見や希望を理解しようとする工夫がみられます。

●地域との交流においても、地元の人との農作業を始めとして、地区の清掃活動や小学校の運動会、さらに盆踊り大会等に参加して積極的に交流を図っています。また、施設機能の還元として、災害時の緊急避難場所としての開放や、自治会行事での地域交流ホームの開放、テント・車両・機材の貸し出しを行うなど、地域との良好な関係が築かれています。

◇改善を求められる点

●職員の確保・定着は法人において最も重要な課題であり、就業規則や給与規程、さらに研修計画の評価を見直すことも今後の課題と思われます。研修計画を作成する際には、非常勤職員の研修参加の機会を増やすことが望まれます。また、実習指導者を養成し、学生の実習を受け入れるなど学校との連携を密にして、新卒職員の確保を図る体制作りを行い、人材確保につなげることが望まれます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

評価していただきましたことは、平素の取組みにとって励みともなります。なお、引き続き、取組内容の充実を図るとともに福祉サービスの質の向上に努めたいと思います。

また、改善を求められる点は、何れも切実な課題であり、法人レベルの取組みとも連動を図り、見直し改善を進め、職員の確保・定着・研修の実現に努めたいと思います。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	7	b	2	c	0	Na	0
<p>●法人の理念や基本方針は明文化され、ホームページや事業計画書に記載されており、利用者等への周知も分かりやすくする工夫が見られました。また、方針実現に向けた目標を明確にし、経営課題や問題点について解決を図るため5年間の中・長期計画を策定されています。その内容は単年度ごとの事業計画として策定され、事業実績の状況も単年度ごとに評価されています。</p> <p>●事業計画は、合理的配慮のもと利用者、保護者へも周知が図られています。</p> <p>●今回の受審は10年ぶりとなっていますが、自己評価や第三者評価は計画的に実施・受審することが求められます。今回の第三者評価の結果を踏まえ、さらに受審に当たり職員参加のもと実施した自己評価において気づいた課題についても改善の明確化を図り、計画的に取り組むことが望まれます。</p>								

II 組織の運営管理	a	12	b	6	c	0	Na	0
<p>●施設長は、自らの役割と責任について各種会議や委員会等で職員に周知するとともに、就任後、各種マニュアルの新規作成や改正を積極的に行い、職員規範としての虐待防止や身体拘束等についても細かく文書化しておられ、福祉サービスの質の向上への意欲が感じられます。また、前回の受審結果を踏まえた経営の改善や、業務の実効性を高めるための組織づくりを行うなど、強い指導力が発揮されていると思料されます。</p> <p>●地域との交流についても、地元の人との農作業をはじめとして地区の清掃活動や小学校の運動会、さらに地区の盆踊り大会等へも積極的に交流を図っておられます。</p> <p>●一方で、職員の質を向上する体制として、研修計画の評価と見直しや非常勤職員の研修参加について考慮される余地があります。また、実習指導者を養成し、学生の実習を受け入れるなど、学校等との連携を密にして新卒職員の確保を図る体制づくりが人材確保につながると思料されます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>●法人の基本方針として、「人間の尊重」「サービスの質の向上」を掲げ、接遇向上委員会や人権委員会等の取組を行うことにより、職員の共通認識を得る取組がなされています。</p> <p>●全室個室を始めとして、プライバシー保護についてもマニュアルを整備し、利用者を尊重した福祉サービスが行われています。事故報告書やヒヤリハット報告書の整備などによる事故防止、感染症対策及び避難訓練の実施などによる安全確保の対策も組織的に行われています。</p> <p>●ユニット別に利用者の活動内容の手順が文書化されたユニットマニュアルがあり、これに基づいた個別的な福祉サービスが実施されています。アセスメントやモニタリングも定期的に行われており、記録の保管についても適切な管理体制が取られています。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	28	b	2	c	1	Na	3
<p>●良質な個別サービスの実施に向けて、居室はすべて個室でプライバシーが守られており、訪問者との面接の部屋や、少人数で過ごせる共有スペースも用意されています。</p> <p>●ユニットケアを取り入れたことにより、職員と利用者の会話が増え、意思伝達が難しい利用者には絵カードやジェスチャー等でコミュニケーションを図っており、潜在的な意見や希望を理解しようとする工夫がみられます。</p> <p>●利用者の権利擁護については、職員の行動規範が定められており、虐待防止委員会や人権委員会及び虐待防止マネージャーによる権利擁護のシステムが適切に機能しています。</p> <p>●日常生活においては、食事は管理栄養士による利用者の状況に応じた栄養ケア計画に基づいた食事サービスが行われており、入浴、排せつ、移乗・移動等においても、個別支援計画に基づいた利用者支援シート及び介助マニュアルによって適切な介助が行われています。</p>								